

番号	枝1	枝2	枝3	枝4	表題(内容)	年代	作成	宛先	形態	点数	備考
1	1	1			〔封筒〕柳心介胃流富山登先生 體術目録 吉田永治信次受				状	1	
1	1	1	1		〔巻物〕命門口傳 教授富山介胃流(葉の調合法か。「接骨蒸薬方」「接骨附薬方」などあり。端裏に「接骨薬秘方」とあり。)				状	1	
1	1	1	2		教授 古田廣左近之助家来 富山介胃流 祖先吉田助左衛門尉豊勝(中に「柳心介胃流 體術目録」とあり。)	大正十五年六月写口	門人・水哉		冊	1	
1	1	1	3		(「地龍」「揚桜皮」など薬の名称を記載)				状	1	
1	1	1	4		(「薬効 一、地龍痛ヲ去熱去 土龍同 地黄血氣四シ毒和ム」などと記載。)				状	1	
1	1	1	5		秘法(「一 露之曙 大事」「一 打身早直方」「一 軍中功疵早直シ」などと記載)				状	1	
1	1	2	1		〔封筒〕一、射術日置驛正忠豊入道 吉田源八郎 印西秘歌				状	1	
1	1	2	2		〔書状〕(嫡子に関する内容か。「御手前嫡子同氏萬儀」とあり。)	(近世)	(吉田東蔵)		状	1	
1	1	2	3		射術(門人の系図か。「右之通代々傳系相續罷在候 一門人之内傳授仕候者無御座候」とあり。)	天保十四年	吉田萬豊仙(花押)		状	1	
1	1	2	4		印西秘歌(「廣居口與のかふより拝して記」とあり。)	(記載年代:承応三甲午十一月吉日~天保十四癸卯七月廿九日)	吉田久馬助重春(承応三)	關治右衛門(承応三)	状	1	
1	1	2	5		〔写真〕(裏に「上 橘 逸勢 筆」「下 僧 空海 筆 (弘法大師)」とあり)				状	1	
1	1	2	6		〔書状〕(弓に関する内容か。「一者 往体少而劫。二者和而有方。三者口射力不屈。四者寒暑力一ロ」など六者まであり。最後に「先祖ヨリ持傳瑠璃光坊以德像 日置彈正正秀之肖像此文之下二有」とあり。)				状	1	
1	1	2	7		〔封筒〕(表に「朝日新聞掲載撮影」「十五代織田備後守信秀之二男也天文三年五月廿八日生」などあり、裏に「佐々木佐京太夫義賢公」「日置彈正秀次高野山」などあり。)	昭和九年八月廿六日、昭和十年正月二日			状	1	
1	1	2	8		〔封書〕(「逸勢と弘法の名筆 日置流の正統を継ぐ 岩沼吉田家が珍蔵」とあり。東京朝日新聞宮城版の新聞記事内容の報告か。1-1-20に同様の資料あり。)	昭和九年八月二十六日	狩野亨吉(東京市小石川)	吉田勇哉	状	1	
1	1	2	9		〔封筒〕(表に「先祖持傳瑠璃光坊以德像弓術之文章付写真在中」、裏に「國朝實鑑」とあり)	(昭和)九年七月五日	文学博士・狩野亨吉(東京市小石川)		状	1	
1	1	2	9	1	〔新聞記事〕今尚民間に残る 橘逸勢の真筆一つ 書道史上大問題化? 更に古筆手鑑帳 遠く豊臣秀次公より拜領か 極秘に傳へた吉田家				状	1	
1	1	2	9	2	〔新聞記事〕時價五十萬圓の国寶物の一危うく競売 弓術日置流の宗家の家寶 監督判事等の盡力で助かる	昭和十一年五月二十四日	東京朝日 宮城版		状	1	
1	1	2	9	3	〔新聞記事〕二百圓で入質”古書”十數萬圓の寶物 新春目出度し 危ふく轉賣	昭和十一年一月五日	宮城讀賣		状	1	
1	1	3	1		〔封筒〕(射術 日置彈正忠豊秀入道瑠璃光坊以德 射術について二代吉田助左衛門尉豊稔子供預證文之事 安政四年 吉田豊寛 吉田東蔵ヨリ菊庵東京遊学先江手紙)				状	1	
1	1	3	2		〔書状〕子供預り證文之事	安政四年二月	吉田關治	薬師如来首	状	1	
1	1	4			〔封筒〕恭権我 田中親美 高山先生 辻南山				状	1	
1	1	5	1		〔封筒〕(「秋光菊庵居士 弘化五戊申年三月大戒日授與」「輪王寺」「倫王寺」などあり。他にメモ書き多数あり。)				状	1	

1	1	5	2	[絵図面]田村右京大夫様御置二付入御口 濱田風也軒先生繩(コピー)	(近現代)			状	1	
1	1	6		[絵図面](城の絵図面のコピー。「分間之城園久島縄方慶未詳 廣通大峯先生也」「本紙大圖三十枚へ書也 風也軒先生縮而如来 于時文政九丙戌夏五月廿五日 吉田萬寫之」などあり)	文政九丙戌夏五月廿五日	吉田萬(写し)		状	1	原本1-1-16
1	1	7		[一紙](掛軸の表装についてか。「廣ハ補衣中ハ表補衣細キハ倫補衣」とあり。)				状	1	
1	1	8		[一紙](陣中の配置図か。「御本陣」「中山一千の伏兵」などあり。)				状	1	
1	1	9		[断簡](「取次遠山社口口」など)				状	1	
1	1	10		領収證書(「納入吉田孝悦 一大豆参斗六升六合 但小齋村口地小作料」とあり。)	明治卅九年度	岩沼町収入役高橋紋之助(印)	吉田孝悦	状	1	
1	1	11		[断簡](日置流祖(日置弾正忠豊秀)からの吉田家系譜か。途中で切れている。)				状	1	一部破損
1	1	12		[記事](「宋検校大師 左神武統軍 錢惟治眞蹟恭惟我帖ヲ滿天下ニ發表ス」とあり。校正か。)	昭和七年十一月	襍学士・辻南山識		状	1	
1	1	13		[一紙](「〇具足ノ銅五枚ホトキトハ如何」など「~如何」の箇条書き。)				状	1	
1	1	14		[断簡](「大嶺廣造先生高名之軍者江戸被廣ク指南 貞山公御聞及師資ノ料被遣御隨身被趣」など。)				状	1	
1	1	15	1	[封筒](表は「古筆了音先生之 手鑑帖鑑定証廿一枚在中」、裏は「書蹟之回答博物館在中」とあり。)				状	1	
1	1	15	2	[手紙](「思らく唐本或は写本ならんと推察致候即ち旧暦版の保存宜敷本」など。)	昭和十年五月六日	狩野亨吉	吉田勇哉	状	1	
1	1	16		[絵図面](1-1-6の原本か。)	文政九丙戌夏五月廿五日	吉田萬(写し)		状	1	
1	1	17		[城造り関係絵図面綴](「後大河の體」「大沼の跡」「潮有満丁海跡」など地形に合わせた15種類の城作りを明記。)				冊	1	
1	1	18		[出陣関係文綴](表紙に「松寄海手備人数引揃軍師 濱田風軒作之」、中に「出陣前ノ事」などあり。)	文化四年卯冬十月			冊	1	
1	1	19		[出陣関係文綴](表紙に「松寄海手備人数引揃軍師 濱田風軒作之」「吉田豊仙文政九年十月写之」とあり。1-1-18と同じ内容。)	文化四年卯冬十月、文政九年十月	吉田豊仙		冊	1	
1	1	20		[新聞記事原稿](「逸勢弘法ノ名筆 日置流ノ正統ヲ継ぐ 岩沼吉田家が珍藏」との見出し。1-1-2-8と同じ内容。)	昭和九年八月廿六日	東京朝日新聞宮城版		状	1	
1	1	21		[一紙](「錢惟治眞筆恭惟我帖一卷」とあり。1-1-12の記事関連の資料。古文書の文字起こしに校正を入れている。手書きで「田中親美先生ノ意見鈴木梅溪先生ノ意見(此ノ處ニ入レル可シ)皆激賞ス。」とあり。)				状	1	
1	1	22		軍法之和歌 全[綴](最後に「右百三十首 内九六教戦 三十四城取」「佐々木四郎六衛高吉作ト云」とあり。)	寛保三巳亥十二月十三日再写与	佐々木四郎六衛高吉、松木右門(写し)		冊	1	
1	1	23		[一紙](「吉田氏譜大正八年之写」とあり。上半分に「柿本人丸」「山辺赤人」などの和歌、下半分に家系図。)	大正八年			状	1	
1	1	24		[折本](「孟子云大而化之之謂聖有一拘泥」など。)				冊	1	
1	1	25		[綴](表紙に「一臨兵闘者皆陣列在前」「軍艦武者奉行巻」とあり。)				冊	1	棒引抹消箇所あり
1	1	26		[綴](冒頭に「此度元祖誰家どなた様御代被召出御奉公申上候」最後に「貳代目源兵衛豊信已来代々御家老職相勤候事ニ申伝罷在申候」とあり。吉田家初代から七代目の系譜もあり。)	慶応三年十一月	吉田永治豊次(花印)		状	1	

1	1	27		〔一紙〕(「三幅對ミ表具」一、兩脇ハ中尊ノ中ノ裂一文字ニ遣也)などあり。3枚の掛け軸の絵あり。掛け方の説明か?)				状	1	
1	1	28		〔書状〕(「松坂十蔵初午ニ付前々より参り度由」一槍之門人在口北村住在木村助作竹駒江参詣申度)などあり。端裏に「義治 風軒」とあり。)	二月十一日	風軒	善治	状	1	
1	1	29		〔一紙〕(「一 宿塩竈下傾杯海老棲中ノ秋初五夜口面烽燈幽」とあり。)		菊庵稔		状	1	
1	1	30		〔一紙〕 歳徳尊神				状	1	
1	1	31		〔一紙〕 (「執毫思産習関」に始まる文章が5行。最後に「初冬読 孔陽阿先生所口書被及口口」とあり。)				状	1	
1	1	32		〔一紙〕 (陣立ての図か。中央に「御備」とあり。)				状	1	
1	1	33		〔書状〕「友五郎口口付及〔 〕先日申遣候通残可口由悦入申候」など。	(近世)十二月十日			状	1	
1	1	34		〔断簡〕(10行程度の文章。「都合ニ相来申候間当茶」など。)				状	1	
1	1	35		〔書状〕(34行程度の文章。「たとひよこれ致シ候共早速夫々こしらひ洗濯口口御見苦敷無し」など。)	(近世)三月四日		吉田	状	1	
1	1	36		〔一紙〕(11行程度の文章。「弓」射」の字が所々に見られる。弓術に関する内容か。)				状	1	(「鐵道院經理局調査課上野分室」発行の用紙裏に明記されているので近代か)
1	1	37		〔一紙〕(紙が封筒のように畳まれ端裏に「手鑑帖目録在中」とあり。中面に目録あり。ボールペンの類を使用。「(4)美人草足踏之事」「(5)弓怯援書卷之」など11の項目を箇条書き。)	(近代)			状	1	前欠?(イ・ロ・ハ・ニがない)
1	1	38	1	〔包紙〕(「極札(きわめふだ)」とあり。)				状	1	
1	1	38	2	〔札〕(表「弘法大師 心経 観自在」、裏「香紙墨字住 十七行完備一卷」などあり。1-1-38-1の中身。)				状	1	
1	1	39		〔包紙〕(「極札(きわめふだ)」とあり。)				状	1	
1	1	40		〔包紙〕(「弘法大師 隅本心経 一卷」とあり。)				状	1	
1	1	41		〔記事〕(「宋 錢性治眞蹟恭惟我帖ヲ滿天下ニ發表ス」とあり。(1-1-41)の校正が1-1-12で直つてゐることから、1-1-12の一つ前の校正原稿か?)	昭和七年十月	裱糊學士・辻南山識		状	1	
1	1	42	1	〔包紙〕(「豊仙之書」「伊具郡角田懸ニ於テ撮影」「靈苗院菊菴異芳居士実名豊仙」とあり。)	明治元年			状	1	
1	1	42	2	〔写真〕(1-1-42-1から、自分の書の前で撮った吉田豊仙の写真か)	(明治元年)			状	1	
1	1	42	3	〔写真〕(1-1-42-2と同様の写真)	(明治元年)			状	1	
1	1	43	1	〔包紙〕(写真の原板と写真2点を包む)				状	1	
1	1	43	2	(写真の原板)				状	1	
1	1	43	3	〔写真〕(男性が写っている。)				状	1	
1	1	43	4	〔写真〕(写真の原板と同じ写真。菱形の模様。)				状	1	
1	1	44	1	〔一紙〕(「鶴翼之備」「此備之時鐵炮挾打」「一右八陣ヲ以是割竹中半兵衛二被 仰付改作之小屋取也」とあり。陣形図もあり。)				状	1	
1	1	44	2	〔一紙〕(「山形之備」「一手別手之備 此備之時鉄炮廻打」とあり。陣形図もあり。)				状	1	
1	1	44	3	〔一紙〕(「方圖東屋敷取」「六花之小屋敷 李衛公相傳」とあり。屋敷の見取り図か。)				状	1	
1	1	44	4	〔一紙〕(右半分「六花之備」と陣形図あり。左半分に「ナゲ橋」とはしごの絵があり。「此橋ハ石垣へ成口又ハいつかたへ成口なけかけ繩を引しめ爪をかけたる事にもちゆるなり」とある。)				状	1	

1	1	44	5	[一紙](「魚鱗之備」「偃月之備 此備之時鉄砲廻り打ち」とあり。陣形図もあり。)					状	1
1	1	45	1	[写真アルバム](「橋逸勢真口文章 一軸」と書かれた木箱の写真と、細長い巾着型の袋の写真。)					冊	1
1	1	45	2	[写真アルバム](1-45-1と同じ写真)					冊	1
1	1	46	1	[一紙](陣形図か。「骨那詩利」とあり。)					状	1
1	1	46	2	[一紙](陣形図か。「月多六福」とあり)					状	1
1	1	46	3	[一紙](陣形図か。「骨那詩利」とあり。)					状	1
1	1	47	1	[一紙](巻紐として使用していた。「貸付分」とあり、「忒俵 渡辺三郎兵衛」などの羅列。最後に「拾四俵旧二月廿三日御渡シ分 合計五拾俵也」とあり。)	(近代)				状	1
1	1	47	2	[書状](書状の印刷か。「覚」?)		嶋屋・高橋口 □			状	1
1	1	47	3	[一紙](「釋迦牟尼佛大和尚」の系図か。)					状	1
1	1	47	4	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	47	5	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	47	6	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	47	7	[一紙] 歳徳尊神	昭和七年正月 元旦				状	1
1	1	47	8	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	47	9	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	47	10	[一紙] 歳徳尊神					状	1
1	1	48	1	[一紙](「八陣圖解」「○唐ヨリ板行テ参レモ先年二部参リ一部ハ公方様一部ハ加賀殿へ納リタルナリ」から始まる。八陣図の解説か。右下に「一」とあり。1-2-16と内容同じ。)					状	1
1	1	48	2	[絵図面](「寛政三辛亥歳冬日 田村右京太夫様御置二付入御口 濱田風也軒先生繩」とあり。1-1-5-2の原本。)					状	1
1	1	48	3	[絵図面](「四枚之内 寛文四甲辰八月五日 長二尺八寸 幅一尺八寸 箱二本丸ノ高五寸二取 平山城 黄ハ山ノカタチ ニノ輪ヨリ本丸迄 山アルヲ平山城トス 久嶋傳兵衛」とあり。)					状	1
1	1	48	4	[絵図面](「一 丸馬出シ」「一 角馬出シ」など絵図の中の場所を示した箇条書きが24あり。右下に「小山治部左衛門 相傳」とあり。)					状	1
1	1	48	5	[絵図面](「山城 佐々木四郎兵衛繩」とあり。)					状	1
1	1	48	6	[絵図面](「三ノ郭大二口不宜工夫可有之候 二ノ部形夫宜敷狭し」とあり。)	文政十一年十月	吉田萬			状	1
1	1	48	7	[絵図面](「此平山城形ハ大鉢宜シ点付ケタル所無口植ヘ物場所より用し」とあり。)	文政十一年三月十八日	吉田萬			状	1
1	1	48	8	[絵図面](「後大河本丸キリキシ之鉢」「此城圖北条氏ノ繩ニ模メ信玄公ノ家流ニハ雖無し境目堅固ノ城ニハ口ルベキカ」とあり。裏に「吉田萬」とあり。)	文政十年四月六日	吉田萬			状	1
1	1	48	9	[絵図面](「本丸」などあり。城の絵図か。)	文政十一年三月八日	吉田萬			状	1
1	1	48	10	[一紙](右半分陣形図と「方圖之備」「此備之時鉄砲廻り打ち」左半分「鋒矢之備」「此備之時鉄砲廻り打ち」とあり。)					状	1
1	1	48	11	[一紙](右半分陣形図と「長蛇之備」「此備之時鉄砲狭ミ打ち」、左半分陣形図と「衝口之備」「此備之時鉄砲廻り打ち」とあり。)					状	1
1	1	49	1	[一紙](「口口ヘベキ様ナシ ○六十四陣ハ正也トミテ今人ハ居ルナリ」から始まる。前欠か。最後も「○天前衝—」と中途半端におわる。右下に「六」とあり。1-1-48関連の内容か。)					状	1

1	1	49	2	〔一紙〕(「クタクヌテナシ何ノカタキモ平カニナルナリ大公様ナト如此義経ノヒヨ鳥越ヘナト如兵ナリ」から始まる。前欠か。最後も「魚ノツラ也此ヲ」と中途半端におわる。1-1-48関連の内容か。)					状	1
1	1	49	3	〔一紙〕(「せ是を有餘不足ノ所口云口口度量ヲナスト云此ノ利ニイタラサレハ地変ヲシルトイヘト実城ヲナス者ニアラス」から始まる。前欠か。1-1-48関連の内容か。)					状	1
1	1	50	1	〔一紙〕(右半分に「継橋」「鉄セイロウ」「是ハ日中ノ仕寄ニ用之」と梯子、車の付いた小屋の絵があり。左半分に陣小屋と思われる配置図あり。)					状	1
1	1	50	2	〔一紙〕(「一、右者越後鎌信公御陣小屋割也」とあり。1-1-50-1と同様の陣小屋の図に人や馬の配置を詳細に明記。右下に「三」とあり。)					状	1
1	1	50	3	〔一紙〕(右半分に「山本勘助相伝ヲ以テ馬場美濃守原隼人佐兩人被仰付陣城如此是ハ敵城ニ向テ付城対陣ニモ吉シ山在ラハ之如此也此前先衆ニ先衆脇後備有之也是ハ本陣計也」などの一つ書きあり。最後に「一朱筋大小共二道也墨ノ内何モ陣小屋也」「一右ハ甲斐信玄公御陣小屋割也」とあって、左半分に陣小屋の図あり。)					状	1
1	1	50	4	〔一紙〕(右半分に「鶴翼直小屋取」と陣小屋の全体図あり。左半分に陣小屋の詳細図があり、「番屋」「番頭」「足軽」「中間頭」など細かく書かれている。)					状	1
1	1	51	1	〔一紙〕(陣立ての配置図か。「弓」「溪」などあり。右上に「四」とあり。)					状	1
1	1	51	2	〔一紙〕(陣立ての配置図か。「弓」「溪」などあり。右上に「七」とあり。)					状	1
1	1	51	3	〔一紙〕(「北条安房守氏長書」「色トリ・土居堀ハ黒・水堀ハ青・掛橋ハ黄・山ノ乗ハ萌黄・カラ堀ハ黄土・道ハ朱」とあり。絵図面の色分けか。)					状	1
1	1	51	4	〔一紙〕(陣立てのような配置図が3つ。「鉄砲」「弓」「溪」などを要所に記述している。各図の上に「一」「二」「三」の番号がふられている。)					状	1
1	1	51	5	〔一紙〕(陣立ての配置図か。「溪」「長」「弓」などあり。右上に「六」とあり。)					状	1
1	1	51	6	〔一紙〕(陣立ての配置図か。「溪」「弓」「長」とあり。右上に「五」とあり。)					状	1
1	1	52	1	〔一紙〕(「長ノ史揚ノ儀ニ木牛流馬ノ方ヲ傳フ」「孔明臥龍傳」など。)					状	1
1	1	52	2	〔一紙〕(「〇十二陣爲地衝」「〇飛龍」「〇分合之機塩場之節」など。右下に「二」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1
1	1	52	3	〔一紙〕(「〇六十四陣」「〇四奇外發」「〇飛龍虎翼」など。右下に「三」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1
1	1	52	4	〔一紙〕(右半分に陣形図と「六花之備」「此備之時鉄砲廻打」、左半分に陣形図と「遊軍之備」「此備之時鉄砲廻打」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1
1	1	52	5	〔一紙〕(右半分に陣形図と「兩蛇之備」「此備之時鉄砲廻打」、左半分に陣形図と「一文字之備」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1
1	1	52	6	〔一紙〕(図面に「弓」「御備頭」などあり。)					状	1
1	1	52	7	〔一紙〕(掛け軸の絵。「同脇」「軸脇」「日光」など絵に細かく詳細を記す。「〇北一文字七トより九ト迄天一文字右ヲ倍ス」「〇中ノ上下ノ割下二寸上三寸是ニ準ス但シロノ口ハ中ノ下三ツニツラ用ユ」とあり。表装の説明か。)					状	1

1	1	52	8	〔一紙〕(右半分に陣形図と「遊軍之備」「此備之時鉄砲挾打」、左半分に陣形図と「七曜之備優月之裏」「此備之時鉄砲重打」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	52	9	〔一紙〕(右半分に陣形図と「別手一手之備」「此備之時鉄砲廻打」、左半分に陣形図と「六花直之備」「此備之時鉄砲廻打」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	52	10	〔一紙〕(右半分に陣形図と「雁行之備」「此備之時鉄砲廻打」、左半分に陣形図と「箕手之備」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	52	11	〔一紙〕(冒頭に「貝 出陣ニハ穂ヲ前ニシ羽を上ニス 祝言ノ調子ヒイホフヒイ 帰陣ニハ陰ヲ上ニシテ吹」とあり。出陣の段取りの箇条書きが続く。)					状	1	左上部分破損
1	1	52	12	〔一紙〕(「第十九 一手別手の備の事」など第三十五まであり。陣立ての目録か。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	52	13	〔一紙〕(右半分に陣形図と「八文字之備」、左半分に陣形図と「劔先之備」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	52	14	〔一紙〕(右半分に陣形図と「勝色之備」、左半分に陣形図と「杉ナリ之備」とあり。1-1-48と同類の資料か。)					状	1	
1	1	53		〔一紙〕(白紙の用紙のみ)					状	1	
1	1	54		〔断簡〕(陣立ての図か。「足軽大将」「長柄奉行」「組頭、旗奉行」などあり。)					状	1	
1	1	55		〔巻物〕(柳心介胄流 體術目録)		宍國齊(印)			巻	1	芯を入れて巻込んでいる。
1	1	56	1	〔一紙〕(「延齡丹」「傷寒」「風邪」などの文字と材料の名前の箇条書き。薬の配合か。)					状	1	
1	1	56	2	〔断簡〕(吉田家の系譜か。「弓之元帥明慶之比」の上の部分がない。1-1-11の下部分か。)	(近世)				状	1	破損
1	1	56	3	〔断簡〕(書状の冒頭6行の文章。「御薬用伝」など。)		濱田黒治	吉田義		状	1	破損
1	1	56	4	〔一紙〕(マス目の中に「三月二十参日 午前十二時迄小雨 午後晴 青就 初眠就 午後ヨリ 停食」などあり、3月18日から4月17日までの天気と日程などが書かれている。)	(近代)				状	1	
1	1	56	5	〔断簡〕(墨で竹の絵が描いてある)					状	1	
1	1	56	6	〔一紙〕(「肥料貸付」とあり。「貳俵 渡辺三郎兵衛」など貸し付けた相手の箇条書きで1-1-47-1と同じ内容。そのほか、鉛筆書きのような薄い字で「負傷者の家族宛二口文」からはじまる文章が14行あり。)	旧二月廿三日				状	1	
1	1	56	7	〔断簡〕(吉田家の系譜か。「吉田助左衛門尉豊隆」などあり。右と下が欠落。1-1-11の下部分か。)					状	1	
1	1	56	8	〔一紙〕(1-1-56-14「吉田氏譜」続き②。「吉田助左衛門尉豊倫」から「吉田助左衛門尉豊雄」まで。)					状	1	
1	1	56	9	〔断簡〕(「吉田氏譜」とあるが「日置弾正正忠豊秀」の部分のみ。)					状	1	
1	1	56	10	〔一紙〕(1-1-56-14「吉田氏譜」続き③。「吉田助左衛門尉豊隆」など。)					状	1	
1	1	56	11	〔一紙〕(1-1-56-14「吉田氏譜」続き④。「吉田助左衛門尉豊要」から「吉田兵左衛門豊信」まで。)					状	1	
1	1	56	12	〔断簡〕(吉田家の系譜か。「源兵衛尉 豊勝」などあるが上と右が切れている。1-1-11の左下部分か。)					状	1	

1	1	56	13	〔一紙〕(1-1-56-14「吉田氏譜」続き⑤。「吉田助之進」から「吉田源兵衛豊昌」まで。「吉田善之助 早世 行年十一」で終了。)					状	1	
1	1	56	14	〔一紙〕(「吉田氏譜」とあり。「日置弾忠豊秀」から「佐々木左京大夫義治」まで。①)					状	1	
1	1	56	15	〔一紙〕(18日から24日までの1-1-56-4と同じ形で書かれた日程の記録。「除沙」の文字が多数。)					状	1	
1	2	1	1	〔巻物〕(表紙「旌旗之作法」とあり。大小の旗の図あり。旗の大きさや旗を用いるときの作法など細かく記述している。「一近代ハ四角ニ大旗ヲ用ユルコアリ」「一上古ノ兵幡ハ各別ノ製也近代不用云」など。)					巻	1	
1	2	1	2	〔巻物〕(「旗之巻」とあり。旗の図を交えて大きさや作りを詳細に記述している。「一旗仕立作法乃事」「一將軍家にて白布を本とす」「一天子之御旗ハ殊也日月を織付也」など。)					巻	1	
1	2	1	3	〔巻物〕(「策之大事」とあり。「鞭」の作りと「策加持」「三国相通策秘術」などの用法について記述している。)					巻	1	付紙あり
1	2	2	1	〔巻物〕(表紙「太刀之圖」。中は「太刀拵圖」。大きな太刀の図に解説が添えられている。)					巻	1	
1	2	2	2	〔巻物〕(表紙なし。中に「毛沓巻 實検切紙」「黄石公傳張良毛沓之秘術」とあり。梵字が多い。そのほか「急々如律令」などの呪文について記述する。)					巻	1	
1	2	2	3	〔巻物〕(表紙、中の冒頭に「二宮流軍馬」とあり。「一、鞍固之事、一、鞞三大事、一、助之事」など多数の項目あり。)	文政十年十一月廿三日	佐藤甲蔵(印)	吉田萬		巻	1	
1	2	2	4	〔巻物〕(表紙「鞭之巻 上下 全」とあり。中は「鞭之圖」の説明や「壇上之作法」、真言についてなど。)					巻	1	
1	2	3	1	〔巻物〕(表紙「采拝之巻」とあり。「采幣造作諸の事」「采拝図」など。裏面に赤字で「采幣種子可書図」など更に解説あり。)					巻	1	
1	2	3	2	〔巻物〕(表紙「一騎傳 全」とあり。中に「信玄流一騎傳上」「一騎用法下」など項目のみ。1-2-22に内容あり。)					巻	1	
1	2	3	3	〔巻物〕(表紙「實見之巻 全」とあり。中に「實見秘法之巻」とあり。「一首対面之時大将扇ニテ十文字を当秘文」「実験見知の時秘文」など首実験の時に唱える呪文について記述する。)					巻	1	付紙あり
1	2	3	4	〔巻物〕(表紙「幕縫様 全」とあり。「一幕縫様」「一計立ルニモ裏ヨリ表ヘサシイダスベシ」など幕の作り方、儀式の幕の飾り方、「幕串留様ノ図」などを記載する。)					巻	1	
1	2	4	1	〔巻物〕(表紙「幕之巻」とあり。中に「幕長之事」「手縄之事」「乳之事」「物見之事」「幕打礼法之事」などあり。幕に関する作法などを記載する。)					巻	1	
1	2	4	2	〔巻物〕(表紙なし。中に「太鼓寸法口口之事」「太鼓包之事」「太鼓雨おおい之事」などあり。太鼓の作り方、儀式的な使い方などを記載する。)					巻	1	
1	2	4	3	〔巻物〕(表紙「團之大事」とあり。中は上下に分かれている。「團寸法之事」「團之圖」「團持様の次第」などあり。團(うちわ)の絵が描かれている。作り方や儀式的な使い方などを記載する。)					巻	1	
1	2	5	1	〔巻物〕(表紙なし。中に「具足着次第」とあり。「一足袋」「一下帯」「一モヘヒキ」「一下着」などあり。甲冑の付け方を記載する。)					巻	1	

1	2	5	2	〔巻物〕(表紙「幕勝建作法」とあり。中に「幕勝建作法之事」「祝儀之事」「幕勝建吉日」などあり。梵字記載の幕の絵図あり。裏に至るまで朱書きで補足が多く書かれている。)				巻	1	
1	2	5	3	〔巻物〕(表紙「神社祭之巻」とあり。中の冒頭に「神社祭之事 母衣旗幕纏圍其分陳道具仕立ル供物之事」とあり、神前に供えるものの絵図などを記載する。)				巻	1	
1	2	5	4	〔巻物〕(表紙は「町見之巻」。中の冒頭に「町見の目録」とあり。「一、さし渡し何町何間と見分にハ」とあり。目線で測量する人物の絵図あり。)	(記載年代:慶安四年正月吉日)	本間一郎兵衛 (花印)	田田十右衛門	巻	1	
1	2	6		〔巻物〕(表紙「軍ノ扇 上下全」とあり。中に「夫軍扇は八幡之形像八葉を表しハツ及宥式は十善をかたとり十の宥にもなす将士共に所持もの也」「軍扇之大事」「軍敗扇乃大事」などあり。日の丸の扇の図あり。)				巻	1	
1	2	7		〔巻物〕(表紙「纒(ほろ)之巻 上下全」とあり。中には「纒仕立ル作法」「纒乃字」「纒長の事」「纒之図」などあり。そのほか曼荼羅の説明など。)				巻	1	
1	2	8		〔武士行軍解説とその絵図〕(馬に乗る、弓を持つ、槍を持つ、箱を担ぐ人など多くの武士行列の絵図。「小荷駄奉行」「長柄奉行」「手明」「新衆」「非番旗奉行」などあり。)				状	10	
1	2	9		〔巻物〕(表紙なし。中の冒頭に「利夫之大事」とあり。そのほか「矢之事」「弓之事」など。弓と矢の大きくて詳細な図面あり。)				巻	1	
1	2	10		〔綴〕(「一、鞍固事」「一、鞞(しりがい)三ノ大事」「一、助之事」「一、馬上弓持事」など馬での射術について三十二ヶ条あり。)				冊	1	
1	2	11		〔綴〕(「具足」「甲」「箆手」「烏帽子」「編矢」などの絵を記載する。甲冑、馬具、弓矢、おれなどを台の上に飾っている絵がほとんど。)		伊藤基右衛門、和田平助、木名瀬小右衛門	吉田源兵衛	冊	1	一部破損、変色
1	2	12		〔冊子〕(表紙「首實見巻上」とあり。中は「首實験之巻上」。「首實験四品之事」「首對面乃事」など。首實見の方法について記述する。間に「信玄公笛吹峠ノ合戦ニ勝テ玉ヒテ是ノ時信玄公病奉処信形ノ代官セン候也」から始まる一紙が挟まる。)				冊	1	
1	2	13		〔冊子〕(表紙「拔萃軍法巻」とあり。中には「信玄公御出陣前三ヶ条ならし乃事」「陣取乃事」などあり。陣立ての図も記載する。)				冊	1	
1	2	14		〔冊子〕(表紙「拔萃」とあり。中の冒頭に「拔萃口義」とあり。そのほか「陣取之事」「城元ノ事」など。)				冊	1	
1	2	15		〔冊子〕(表紙「八陣圖解序アリ」とあり。中は「八陣圖説序」で漢文。「風后握機陣圖」「洞當陣圖」など14種類の「陣圖」の絵図あり。)				冊	1	
1	2	16		〔冊子〕(表紙「八陣圖解 全」とあり。中は「八陣圖解」など陣形図を交えた解説を記述する。1-1-48-1と関連あり。)				冊	1	
1	2	17		〔冊子〕(表紙「首實見巻下」とあり。中は「首實験之巻下」。「血祭之事」「首桶之事」「首供養乃事」などあり。首實見方法や後始末について。1-2-12の続き。)				冊	1	
1	2	18		〔冊子〕(表紙「結要本八」とあり。中は「甲揚軍鑑結要本八」。色つきの陣形図を多数記載する。)				冊	1	
1	2	19		〔冊子〕(表紙「結要本九終」とあり。中は「甲陽軍鑑結要本九終」。「味方右之方陣坂」「味方左之方陣取」の絵図などあり。1-2-18に関連。)				冊	1	

1	2	20	〔冊子〕(表紙「結要品六七」とあり。中は「甲陽軍鑑末書結要本六」と「七」が続いて掲載されている。1-2-18に関連)				冊	1	
1	2	21	〔冊子〕(表紙「裏書全」とあり。「武田信玄公御仕置三ヶ條乃事」など多くの条項あり。)				冊	1	
1	2	22	〔冊子〕(表紙「成敬先生集一騎傳要法全」とあり。中には「文道武道之事」「兵具惣論知格付甲州勝手具足」など多くの条項あり。最後の頁に陣形図などを記した一紙が挟まる。1-2-3-2と関連あり。)	文政九丙戌十二月			冊	1	
1	2	23	〔冊子〕(表紙「三品聞書全」とあり。中には「龍韜品」「虎略品」「豹業品」などあり。1-2-18に関連。「甲陽軍鑑結要本」は「三品(さんぼん)」あり、「虎略品」「豹業品」「龍韜品」の三つ。)				冊	1	
1	2	24	〔冊子〕(表紙「三品之内三 虎略品全」とあり。中は「三品之内貳 虎略品全」。1-2-18、1-2-23に関連。)				冊	1	
1	2	25	〔冊子〕(表紙「中興源記一ヨリ六巻迄」とあり。中は「家康御誕生御元服之事」など家康の足跡を記述する。)				冊	1	
1	2	26	〔冊子〕(表紙「豹業品式」とあり。長篠の合戦の経緯について記述する。)				冊	1	
1	2	27	〔冊子〕(表紙「龍韜品三」とあり。中は「三品之内壹 龍韜品壹」。武田信玄の足跡や戦術などを記載する。)				冊	1	
1	2	28	〔冊子〕(中に「武藝小傳卷之六」とあり。「上泉伊勢守」「神後伊豆守」「疋田文五郎」「柳生十兵衛三巖」など「刀術」関係の人物を紹介している。)				冊	1	変色、一部破損
1	2	29	〔冊子〕(表紙「武藝小傳卷三」とあり。中は「日置弾正正次」「吉田上野介重賢」「吉田出雲守重政」「吉田豊隆」など吉田家祖先に当たる日置流月術関係の人物などを紹介。「卷之四 馬術」もあり。頁の間に現代に書かれたような書込みのある付箋が挟まる。)				冊	1	表紙は現代に修正
1	2	30	〔冊子〕(表紙「武藝小傳卷一」とあり。中に「干城小傳序」。「武藝小傳目録卷之一 兵法」から「卷之十 柔術」までの登場人物目録と兵法、人物紹介。途中から「卷二」になる。)				冊	1	表紙は現代に修正
1	2	31	〔冊子〕(表紙「末書下巻四 王相死囚老」とあり。陰陽道の一つ「王相死囚老」について解説する。)				冊	1	
1	2	32	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品之四」とあり。中に「二十二本目甲陽軍鑑末書下巻下九品之四」など。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	33	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ五」とあり。中に「末書下巻之下九品之五」「二十三本目甲陽軍鑑末書下巻下九品之五」とあり。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	34	〔冊子〕(表紙「末書下巻之下九品之六」とあり。中に「二十四本目甲陽軍鑑末書下巻下九品之六」。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	35	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ七」とあり。中に「甲陽軍鑑末書下巻九品之七目録」。陣取りの図多数。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	36	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ三」とあり。中に「三十一本目甲陽軍鑑末書下巻下九品之三」。陣取りの図多数。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	37	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ二」とあり。中に「甲陽軍鑑末書下巻九品之二目録」など。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	38	〔冊子〕(表紙「末書下巻九品之一」とあり。中に「軍鑑下巻末書」「甲陽軍鑑末書下巻九品之一目録」。城の見取り図あり。1-2-18に関連。)				冊	1	

1	2	39		〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ九」とあり。中に「甲陽軍鑑末書下巻九品之八目録」。1-2-18に 関連。)				冊	1	
1	2	40		〔冊子〕(表紙「末書下巻九品ノ八」とあり。中に「甲陽軍鑑末書下巻 九品之八目録」。陣取り図 あり。1-2-18に関連。)				冊	1	
1	2	41		〔一紙〕(「キ 一、壹反壹畝六ト」「三セ廿六ト」な ど一田などの面積の表記と「畑三反六畝」など の表記あり。田畑の区画図付き。)			渡辺様	状	2	
1	2	42	1	〔一紙〕(陣立ての図か。「御備」「御旗」「弓」「溪」 の表記あり。「六」の附番。)				状	1	
1	2	42	2	〔一紙〕(陣立ての図か。「御備」「弓」「溪」「ヤリ」 の表記あり。「五」の附番。1-2-42-1に関連。)				状	1	
1	2	43	1	〔一紙〕(田畑の区画図か。「苗代田」とあり。)				状	1	
1	2	43	2	〔一紙〕(田畑の区画図か。「十二俵四斗」「五 畝」「八畝」とあり。裏にも書付あり。)				状	1	
1	2	44		〔綴〕(「父母養其学而不教」とあり。「解毒丸」「六 物解毒湯」など薬の材料を表記する。)				状	1	
1	2	45		〔綴〕(「陣屋ニテ一番目ハ二兵糧ヲシタメ支度 出陣ノ用意ヲ整」とあり。「図ノ一」から「図ノ七」 まで項目が分かれている。)				冊	1	汚れ
1	2	46		〔綴〕(「結納兼婚禮之部」とあり。「嫁」「三三九 度」などが何度もあり。婚礼に関する内容を記 述する。)				冊	1	
1	2	47		〔包紙〕(宛名を書いて一枚の紙を封筒のように 折ったもの。中身なし。)	十一月廿日	〔〕濱田定治	岩沼口・吉田 義	状	1	
1	2	48		〔封筒〕(「南山和尚 書面在中 外ニ手残」とあ り。中身なし。)				状	1	
1	2	49		〔書状〕(「彼岸之口口」「一松口十蔵事」など。18 行程度の文章。)		風口	(吉田)義	状	1	
1	2	50		〔書状〕(1-2-49の続き。11行程度の文章。「吟 味之条十蔵方へ其段」「痲瘡」など。)	二月十五日			状	1	
1	2	51		〔一紙〕(陣立て図か。「御備頭」「ヤリ」「弓」とあ り。「三」の附番。1-2-42に関連。)				状	1	
1	2	52		〔一紙〕(陣立て図か。「御備頭」「旗」「はた」「弓」 「槍」とあり。「二」の附番。1-2-42に関連。)				状	1	
1	2	53		郵便物受領證	45.7.17	岩沼郷・吉田 勇哉	伊具郡館矢間 口館山一・半 澤善右衛門	状	1	
1	2	54		〔断簡〕(「五拾騎備立」とあり。「足軽」「長柄持」 「組頭」「馬」など陣営図の中にあり。)				状	1	左半分破損
1	2	55		〔届〕(「焼失届」とあり。「一、木小屋一棟」「明治 四十四年十二月十日出火」とあり。)	明治四十四年 十二月十日			状	1	
1	2	56		〔一紙〕(「文化元年甲子八月廿八日先師悦岩 老和尚」とあり。)	弘化五成申年 三月大戒日	秋光菊菴居士	松音天應悦音 (印)	状	1	
1	2	57		〔書状〕(10行程度の文章。「嫡子」など。)	十一月十八日	三竹見		状	1	
1	2	58		〔書状〕(「破傷風ノ気味相成候段々御能方口 在候」「友五郎来月十日頃より正月松の葉頃ま で借用申」など。)	十一月廿日	口龍高	(吉田)義	状	1	
1	2	59		電信為替金受領證書	(明治)43.1.11			状	1	
1	2	60		〔一紙〕恭惟我				状	1	破れを補強
1	2	61		〔一紙〕(「五寸 十本」「六寸 六本」「七寸 四 本」などあり。)				状	1	
1	2	62		〔断簡〕(「十二月十五日軍法全終」とあり。手紙 文か。)	十一月廿九日			状	1	前欠
1	2	63		〔断簡〕(「形アラワス口ハ左右前後モ出ヘキ也 モトハ真中カラ出ル故ニ空ナルモノ也」など。)				状	1	後欠
1	2	64		〔一紙〕(図とその長さを書いたもの)				状	1	
1	2	65		〔断簡〕(土地の区画の図面か。図の中に「九セ 拾五ト」などの書込みあり。)				状	1	下半分欠
1	2	66		〔断簡〕(「友五郎方」など。端裏に「吉田氏へ」と あり。)			吉田氏	状	1	

1	2	67		〔一紙〕(「左右トミヘル也八陣ノ右ノ図ガ横ニナツテ有故ニ左右とナルナリ」とあり。1-1-48-1、1-2-63の続きか。)					状	1
1	2	68		〔証書?〕(「記 一、金壹円七拾六口」とあり。「鯉(いわし)」の文字あり。)	明治三十三年七月十五日、三十六年一月	相原和吉(印)	吉田伝治		状	1
1	2	69	1	〔一紙〕(襖絵の見本か)					状	1
1	2	69	2	〔一紙〕(襖絵の見本か)					状	1
2	1	1		〔巻物〕(「吉田氏譜 全」。1-1-2-9-2、3に関連する新聞記事の付紙あり。)					巻	1
2	1	2		〔巻物〕(「筋之圖」「敦波圖」「草廉掛様之圖」とあり。鹿の絵など色彩のある絵が並ぶ。最後に「此一冊者祖父豊雄小笠原流之学弓法其例義当流之書面之外委及口談者也」とあり。)	(記載年代:承応三曆)	吉田助左衛門(花印)	吉田源兵衛		巻	1
2	1	3		〔巻物〕(表紙「佛射之圖」とあり。「佛射的」「介添三人」「的の絵図」などの絵あり。最後に「此一冊者祖父豊雄小笠原流之学弓法其例義当流守之出面之外委及口談者也」とあり。)	(記載年代:承応三曆)	吉田助左衛門(花印)	吉田源兵衛		巻	1
2	1	4		〔お札、包紙〕(包紙が2つ、「十本 外 ハダカ二本」と書かれた紙、「解脱貞慶上人」「清蓮院尊圓親王」など書かれた裏に金箔模様入りの札が21枚。)					状	24
2	1	5		〔巻物〕(「敬白起請文前書ノ事」とあり。「一、日置流弓ノ道被相伝之処口他言申間敷之事」など三ヶ条あり。)					巻	1
2	1	6		〔巻物〕(表紙「日置流口口口」。中に「夫弧術者兵器之其一也温根元黄帝之二臣揮作弓」などとあり。)	(記載年代:承応三曆)	吉田助左衛門(花印)	吉田源兵衛		巻	1
2	1	7		〔巻物〕(表紙「矢之圖全」とあり。「的筋(や)圖」「中刺」「負箭」「別箭」「揚枝隠」など様々な矢の絵図あり。)	(記載年代:承応三曆)	吉田助左衛門(花印)	吉田源兵衛		巻	1
2	2	1	1	〔巻物〕(表紙「印可之巻」とあり。中に「雪荷八口口」の朱印、「日置流弓之道口御執心從吉田六左衛門」などあり。最後に8人の連名あり。現代の付箋付き。)	文政七年十二月十九日	吉田雪荷他7名(印、花印)	森勇太郎		巻	1
2	2	1	2	〔巻物〕(表紙「火矢之書」とあり。中に「火箭次第」「塩硝 拾文目」「硫黄 九文目」「灰 壱文目五分」などあり。火矢の材料か。最後に8人の連名あり。現代の付箋付き。)	文政七年十二月十九日	吉田雪荷他7名(印、花印)	森勇太郎		巻	1
2	2	1	3	〔巻物〕(中に「雪荷八口口」の朱印、「一、あしふみ弓かまへ乃事」などの一つ書きが並び、「都合九拾五ヶ條」とあり。最後に8人の連名あり。現代の付箋付き。)	文政六年四月廿五日	吉田雪荷他7名(印)	森勇太郎		巻	1
2	2	2	1	〔巻物〕(中に「全體流目録序」とあり。「夫剣術之理古今之所傳不可誣他」「目録」「長刀」「十文字」などあり。現代の付箋付き。)	(記載年代:貞享二乙丑二月廿九日)	山田半右衛門	吉田半平		巻	1
2	2	2	2	〔巻物〕(中に「全體流印可書」とあり。「全體流者剣術之法也 夫以日本者專武之国也」などとあり。続いて伝授者の系譜のようなものあり。現代の付箋付き。)	(記載年代:貞享二年二月廿九日)		吉田半平		巻	1
2	2	3		〔巻物〕(中に「夫弓之口解者昔年於漢土逢」などあり。現代の付箋付き。)	(記載年代:明暦三年季冬吉日)	屋代甚右衛門	吉田源兵衛		巻	1
2	2	4		〔巻物〕(中に「務也所具授受亦不澤守予先日置彈正忠改其舊習之弊於口後新得之術於口」などあり。現代の付箋付き。)	(記載年代:承応三曆)	吉田火左衛門	吉田源兵衛		巻	1
2	2	5		〔巻物〕(中に「手之裏之名之事」「地立胴作り可置次第」「弓引段之事」などあり。最後に4人の連名あり。現代の付箋付き。)		羽楊葉軍甫ほか3名			巻	1

2	2	6	〔巻物〕(「雪荷口八口口」の朱印、「一弓場入之事貴人高人御列厘之有無ヲ窺ヒ楮上下之席ヲ能見計ヒ」など一つ書きが続く。弓的のような図あり。最後に4人の連名あり。現代の付箋付き。)	(記載年代: 應永廿四曆八月十五日)	小笠原備前守 持長ほか3名		巻	1	表紙破れ
2	2	7	〔巻物〕(表紙「射口口集起請文」とあり。中は「敬白起請文前書之事」「一、日置派弓之道被相傳之處他言中間補之事」などあり。2-1-5と同様。和紙の巻物部分は白紙である。)		裏に「屋代基右衛門尉一宜」の名あり		巻	1	
2	2	8	〔綴〕(表紙「日置流射法全」とあり。「一五ッ真之胴之事」「一弓構之事」「日置以徳入道秘歌」などあり。最後に紙が挟まる。)				冊	1	
2	2	9	〔冊子〕(表紙解読不可。「矢」「日置」「吉田一家」などあり。弓術や日置流についての内容か。)				冊	1	
2	2	10	〔冊子〕(表紙解読不可。中は「序 射者古之道也」など。弓術関係の内容か。)				冊	1	
2	2	11	〔冊子〕(表紙解読不可。中に「弓場」「雪荷」などあり。弓術や日置流についての内容か。頁の間に「振込通知票」の紙片が挟まる。)				冊	1	
2	2	12	〔冊子〕(表紙「弓法拔書下」とあり。中に「弓方拔書巻之下」。矢、的の図多数。途中から「弓方拔書巻之口」とあり。作成者と花押が2カ所にある。2冊を1冊に綴ったか。)	(記載年代: 明曆三年)	屋代基右衛門 (花印)	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	13	〔冊子〕(中の冒頭に「義人単」とあり。「日置」「弓」の字あり。)	(記載年代: 明曆三年)	屋代基右衛門 (花印)	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	14	〔冊子〕(表紙「義人単」とあり。「五真之胴之事」「角身之事」「具足弓之事」などあり。)	(記載年代: 正保三曆九月上旬)	吉田助左衛門 豊要(花印)	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	15	〔冊子〕(表紙「日置流射法全」とあり。「一、握巻検の事」「二、弓懸けの口代續事」など目録と解説。)	(記載年代: 明曆二年桃浪仲旬)	吉田介左衛門 豊要(花印)	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	16	〔冊子〕(中に「辻的之次第」「行仕的之次第」などあり。)	(記載年代: 明曆三年霜月中旬)	屋代基右衛門	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	17	〔冊子〕(中に「的之次第」「弓の志門の事」などあり。的の絵図あり。また、「永正拾三曆八月日上原豊前守高家 吉田新助殿」という記述もあり。)	(記載年代: 明曆二年桃浪仲旬)	吉田介左衛門 (花印)	吉田源兵衛	冊	1	
2	2	18	〔冊子〕(表紙「三之巻」とあり。「一 問日葉に師越来ると云事如口」「一 問日清濁のヶ條如口」などあり。弓術関係の内容。)				冊	1	
2	2	19	〔冊子〕(表紙「弓法拔書二」とあり。表裏の表紙のみ。)				状	1	
2	2	20	〔冊子〕(表紙「結要本」とあり。「甲陽軍鑑末書結要本一、二、三」「佛法の沙汰九ヶ條之事」とあり。1-2-18に関連。)	(記載年代: 天正七年戊寅正月吉日)	高坂弾正忠昌 信		冊	1	
2	2	21	豹業品三(冊子の表紙のみ)				状	1	
2	2	22	結要本四五(冊子の表紙、裏表紙のみ)				状	1	
2	2	23	〔一紙〕(透かし絵がある。草花?)				状	1	
2	2	24	〔一紙〕(透かし絵がある。草花?)				状	1	
2	2	25	(冊子の表紙、裏表紙か。)				状	1	